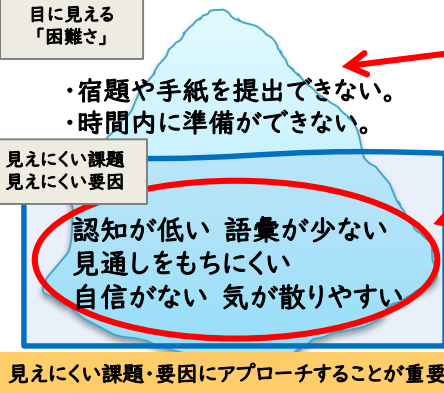




個別の指導計画に記載されている目標について、「抽象的で明確に評価することが難しい…」と感じるケースがあります。今回は、**具体的な目標設定のポイント**について御紹介します。

【冰山モデル】

具体的な目標を設定するためには、的確な**実態把握**が必要！



目に見える**行動**（海面に出ている氷）は、様々な**背景**（海面下に隠れている巨大な氷）によって引き起こされています！

「困難さを引き起こす要因は何か？」を考えることが重要です！



【目標設定のポイント】

的確な**実態把握**

具体的な**目標設定**

指導内容・指導方法・指導場面などの**明確化**

適正な評価

具体的な**目標設定**を行うためには、「**条件(状況)**」「**行動**」「**基準**」の**3つの要素**が示されていることが大切！

「**条件(状況)**」とは…

利用される環境や教材、支援の質を明らかにする内容

「**行動**」とは…

評価ができる行動を示す「動詞」の記述

「**基準**」とは…

許容できる達成度の基準点、標準点

具体的な目標を設定することが、**適正な評価**につながります！

(短期目標例) **朝の準備をすることができる。**

「**条件**」「**行動**」「**基準**」が十分に示されておらず

評価困難…

目標の再検討!

条件

条件

基準

行動

いつ?

手立ては?

いつまでに?

何ができる?

3つの要素をもとに修正してみると…

(修正短期目標例)

登校してすぐに、一人で連絡ボードを確認し、提出物と宿題を

朝の会が始まるまでに

決められたボックスに

提出する。

目標の再検討!

なぜできなかったのか?

条件

基準

行動

◆評価が可能に!

できなかった…

できた!

◆次につながる目標設定が可能に!

・連絡ボードで → 連絡帳で
・朝の会までに → 5分以内で 等

学習や生活がスムーズになるための力の獲得へ